

まぐらぎ(き)

今年^ねは子年

今年^ねは子年。十二支の一番手ですが、なぜ一番なのでしょう。これは昔、中国で時刻や方角を表すのに用いた子(し)、丑(ちゆう)、寅(いん)・・・の十二の方位に、それぞれ動物を当てはめたことによるものです。

ことわざにもしばしば登場します。弱者でも追い詰められると強いものに逆襲する、という意味の「窮鼠猫を囓む^か」や、前ぶれの騒ぎばかりが大きくて、実際の結果は極めて小さいことのとたとえである「大山鳴動して鼠一匹」などはよく知られています。

数が多く、農作物や食料を食い荒らすなど決して評判はよくないネズミですが、それだけ人間にとって身近な動物ということでしょう。ネズミが逃げ出すような大きな災いが来ないよう、今年も祈りたいものです。

